

会議名称	第3次七戸町長期総合計画策定に係る第1回七戸町総合開発審議会
開催日時	令和7年6月17日(火) 13:30 ~ 14:25
開催場所	七戸町役場本庁舎2階 第1・2会議室
出席者	七戸町総合開発審議会委員 七戸町町内会連合会会長 岡村 茂雄 七戸町天間林商工会会長 坪 晃 七戸町商工会会長 田中 清一 七戸町文化協会会長 天間 優彦 特定非営利活動法人七戸町スポーツ協会会長 浜村 良一 七戸町社会福祉協議会会長 天間 勤 七戸中央公民館分館分館長代表 田頭 拓也 七戸町連合PTA会長 高松 幸蔵 事務局 七戸町企画調整課：田中(健)課長、山本課長補佐、澤田主任主査 オブザーバー RAB開発(株)：杉山営業本部長、葛西企画部長
欠席者	ゆうき青森農業協同組合天間林営農センター長 中岫 亨 十和田おいらせ農業協同組合七戸支店長 川端 義幸
次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 町長あいさつ 4 自己紹介 5 案件(1) 会長・副会長選出について 案件(2) 第3次七戸町長期総合計画について 6 その他 7 閉会
会議資料	・資料1-1 第3次七戸町長期総合計画について ・資料1-2 策定スケジュール ・資料2 令和6年度実施『第3次七戸町長期総合計画策定に係る基礎調査について』 ・資料3 第3次七戸町長期総合計画策定に関するアンケート調査票 ・資料4 第3次七戸町長期総合計画策定に関するアンケート調査票(結果報告一部抜粋) ・資料5 第3次七戸町長期総合計画策定のための町民ワークショップ報告書 ・資料6 第3次七戸町長期総合計画策定のための高校生ワークショップ報告書

【次第1 開会】

○田中（健）企画調整課長

本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ご案内の時間より少し早いですが、皆さんお揃いですので開会いたします。

開会に先立ちまして皆様にお諮りしたいことがございます。今回、第3次七戸町長期総合計画策定にあたり、昨年度実施いたしました基礎調査業務において、町民アンケートやワークショップによる情報収集、データの分析、行政のヒアリングなどの業務を RAB 開発株式会社様より実施していただきました。また、本年度も本計画の策定業務も委託契約しております。つきましては、この審議会におきましても、内容説明や質問への回答のために、後ろの席におります RAB 開発様も同席していただきたいと思っております。皆さんよろしいでしょうか。

○一同

はい。

○田中（健）企画調整課長

ありがとうございます。

それでは、ただ今から第1回七戸町総合開発審議会を開催いたします。本日進行を務めさせていただきます、私企画調整課の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。早速ですが、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

初めに委嘱状を交付いたします。町長が前に進みますので、委員の皆様はその場で起立してお受けください。

【次第2 委嘱状交付】

町長より、各委員に委嘱状を交付。

【次第3 町長あいさつ】

改めまして、皆さんこんにちは、町長の田嶋です。どうぞよろしくお願いいたします。本日はお忙しいところ、また非常に暑い中、この会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。委嘱状も交付させていただきました。一つよろしくお願ひしたいと思います。第3次七戸町長期総合計画策定に係る七戸町総合開発審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日まで出席いただいております皆様方におかれましては、農業、商工業、文化、スポーツ、町内会、分館、PTA 活動など、それぞれの分野におい

て、町の活性化のためにご尽力されている方々でありまして、心から感謝申し上げます。誠にいつもありがとうございます。

さて皆様ご承知のとおり、当町は本年3月31日をもって合併20年を迎えました。町ではこの20年間、潤いと彩りあふれる田園文化都市を目指すというキャッチコピーの中、第1次、第2次長期総合計画を策定し、町づくりを進めてまいりました。この中でも様々な転換期がございまして、平成22年には七戸十和田駅が開業、その翌年には七戸高校八甲田校舎の閉校、平成29年には天中と榎林中の統合、そして令和3年には二ツ森貝塚の世界遺産登録、翌年には上北自動車道全線開通、そして令和6年には総合アリーナの供用開始、全国的には令和2年に新型コロナウイルスの感染症が流行りまして、全国的な緊急事態宣言がだされて新しい生活スタイルとなり、また急速なデジタル化など、このようにも変わってまいりました。また人口減少、世界情勢の影響など、様々な変化がこの間に起きております。

そのような中、当町におきましても、少子高齢化は最大の課題でありまして、合併当時から約5千人減少しまして、今は1万4千人余りです。この人口減少に対応した町づくりを進めていくために、平成30年に策定しました荒熊内開発計画に基づき、荒熊内地区を中心としながら開発を進めているところでございます。荒熊内地区は、天間地区と七戸地区のちょうど中間に位置していて、新幹線の駅や道の駅があるなど、これからの軸となるエリアだと考えております。この地区を新たな市街地としながら、それぞれの賑わいを整備していく、というように進めているところでございます。

また今後も、その荒熊内地区を中心としながら、人口減少が進む中でも次世代につながる持続可能な町を作っていくために取り組んでまいりたいと考えております。そのためにも、今回諮問いたします第3次長期総合計画には、これからの10年の計画が入ることになりますので、町の大事なビジョンとなります。

委員の皆様におかれましては、その各分野における町づくりのこれからの方向性、取り組みなどを慎重にご審議いただいて、町に答申下さるようお願い申し上げます。皆さんどうぞよろしく願いいたします。

○田中（健）企画調整課長

ありがとうございました。

ここで、本日は第1回目の会議ですので、委員の皆様にご挨拶で結構ですので、自己紹介をお願いしたいと思います。岡村委員から順にお願いしたいと思います。

議事録

－ 委員、事務局、オブザーバーの順に自己紹介 －

○田中（健）企画調整課長

ありがとうございました。

それでは案件に入りますが、その前に委員の皆様にお願いがございます。本日と今後の審議会での皆様の発言内容について、後日、町のホームページに情報公開したいと思っておりますが、皆様、よろしいでしょうか。

○一同

はい。

○田中（健）企画調整課長

それでは案件に入ります。七戸町総合開発審議会運営規則第3条により、会長が議長となること、となっておりますが、会長が選出されるまでの間、町長に仮議長をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○一同

はい。

○田中（健）企画調整課長

ありがとうございます。では町長から案件（1）をお願いします。

○町長

では会長が決まるまで私が仮議長をさせていただきます。案件の（1）、会長、副会長の選出についてですが、規則によりますと委員の互選となっておりますが、皆さん、いかがいたしますか。事務局に腹案があるようですが、そちらでよろしいでしょうか。

○一同

はい。

○町長

それでは事務局からお願いします。

○田中（健）企画調整課長

事務局案としましては、会長には田中清一委員、副会長は天間優彦委員に

議事録	<p>お願いしたいと思います。</p> <p>○町長 今、事務局から会長には田中清一委員、副会長には天間優彦委員という名前があがりましたが、皆さんよろしいでしょうか。拍手で承認よろしくお願いします</p> <p>○一同 はい。(一同拍手)</p> <p>○田中(健)企画調整課長 それでは本審議会の会長が決まりましたので、ここで町長より田中会長へ諮問書を渡していただきます。</p> <p>○町長 諮問書。第3次七戸町長期総合計画基本構想および基本計画。 平成28年3月に作成した第2次七戸町長期総合計画は今年度で10年となります。町ではこの計画による施策によって多数の事業を行ってきました。この10年間の施策の実施状況と成果を評価するとともに、今後10年間の七戸町の目指すべき方針を定め、少子高齢化や持続可能な町づくりに係る課題を克服するべく施策を提示するため、第3次長期総合計画を策定することとなりました。つきましては第3次長期総合計画基本構想の内容について、貴審議会に十分な調査審議による意見を求めます。七戸町総合開発審議会長、田中清一殿。よろしく願いいたします。</p> <p>○田中(健)企画調整課長 ありがとうございました。町長につきましてはここで退席となりますので、ご了承願います。</p> <p>○町長 よろしく願いいたします。</p> <p>○一同 はい。</p> <p>○田中(健)企画調整課長 それでは、七戸町総合開発審議会運営規則第4条の規定により、会長が議</p>
-----	---

長となること、とありますので、これより会議の進行は田中会長にお願いいたします。

○議長

ただ今、当審議会の会長に選出されました田中でございます。第3次七戸町長期総合計画策定につきまして、皆様のご協力を得ながら進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは次第に戻りまして、5番の案件(2)、「第3次七戸町長期総合計画について」、こちらを事務局からご説明お願ひします。

○事務局

改めまして事務局の山本です。どうぞよろしくお願ひします。説明に入る前に確認いたします。本日の会議をご案内した際に、資料の2から6までを事前に送付いたしました、本日お持ちいただきましたでしょうか。

○一同

はい。

○事務局

それでは資料1-1をご覧ください。長期総合計画の概要などについて説明させていただきます。

1番目は七戸町総合開発審議会についてです。七戸町総合開発審議会設置条例には、審議会は町の総合開発および土地利用に関する重要事項について、町長の諮問に応じ調査審議するために設置する、とあります。本審議会はその条例に基づき、第3次長期総合計画について調査審議していただくものです。本日、先ほど町長から皆様に当審議会の委員を委嘱させていただきました。

続きまして2番の長期総合計画の構成と策定根拠、経緯についてご説明いたします。

まず(1)の長期総合計画の構成について、この長期総合計画は、基本構想と基本計画という大きな2つの分野で構成されていて、今後10年間における町政の指針となる重要な計画、という位置づけとなっています。基本構想につきましては、七戸町が目指す将来像と、将来の目標を明らかにし、町づくりの基本方針を示しています。また、町づくりにおける戦略的な重点施策の大綱を提示したものとなっています。これが基本構想です。次に基本計画は、基本構想における施策の大綱に基づいて、それぞれ

事業分野ごとの計画を立案したものです。また、分野別における現況と課題を把握し、それらに対応するための具体的な施策を体系的に明らかにしたものが基本計画となります。

次の(2)は、七戸町長期総合計画の策定根拠と経緯です。①の七戸町長期総合計画は、第1次の長期総合計画という位置づけです。平成18年7月に策定し、18年度から27年度までの10ヵ年を計画期間として策定されたものです。この黒枠の中に入っていますが、この第1次の計画が策定された当時は、地方自治法において、総合計画の基本部分である基本構想については議会の議決を経て定めること、と義務付けされておりました。よって第1次長期総合計画も地方自治法に基づいて策定されましたが、この矢印にあるとおり、国の地域主権改革により平成23年5月2日に地方自治法の一部を改正する法律が公布され、基本構想の法的な策定義務がなくなり、その策定および議会を経るかについては、市町村独自の判断にゆだねられることになりました。

しかしながら町では、この長期総合計画は町の総合的かつ計画的な行政運営の指針を示すものであり、町民の方に対して町づくりの長期的な展望を示す大変重要な事項であることから、平成27年12月の定例議会で七戸町議会の議決すべき議件を定める条例を作成し、引き続き議会の議決が必要な案件として条例を改定しました。その改定された条例により、第2次長期総合計画が平成28年3月に策定され、今年度で10年と最後の年度となることから、来年4月からの新たな計画として第3次の計画を今年度内に策定するものです。

続きまして(3)の今後のスケジュールについてです。

資料1-2をお願いいたします。今年度実施する策定までのスケジュールを載せています。本審議会については表の右端をご覧ください。今年度中に全4回の開催を予定しています。本日1回目は、この長期総合計画を策定する根拠等を説明させていただいています。次の2回目は8月を予定しておりますが、基本構想の素案が出来次第ご審議いただく予定です。3回目は11月頃、最後の4回目は12月頃の予定です。全4回の審議会を経て4回目に町へ答申、というように進めていきたいと考えています。

次に審議会以外の予定についてですが、町としましては本審議会からの答申をもとに、12月に議会説明で議員の皆さんへご説明した後、1月にパブリックコメントを開催し、そこでいただいた町民の方の意見をもとに修正が必要な場合は修正し、3月の議会で議案を提案し、審議、可決して

いただく、という流れで進めていくこととしています。委員の皆様におかれましては、12月までの期間を予定しています。どうぞよろしく願いいたします。

続いて資料2をお願いします。昨年度実施しました長期総合計画の策定に係る基礎調査業務の内容を1枚にまとめたものです。それぞれ簡単にご報告させていただきます。①は事務事業評価、②は町民アンケート調査、③は町民ワークショップ、④は高校生によるワークショップ、これらの4つを実施しました。今年度は本文の策定に入りますが、その際に必要な基礎資料を収集するため昨年度実施したのがこれらの基礎調査です。

次の資料3から資料6で少し詳しく説明させていただきます。

資料3と資料4を併せてご覧いただきたいと思います。資料3は、昨年度実施しましたアンケートの質問事項です。資料4はその結果をまとめたものです。

このアンケートにつきましては、昨年度4月2日時点で18歳以上の町民の中から無作為に1600人抽出して調査票を郵送し、このうち588名から回答をいただきました。回収率は34.75%となります。このアンケートを実施するにあたり、当町の人口規模の場合には回答数600程度あれば有効と考えて、様々な統計データなどから1600人に調査票を送付し、回答数588人と想定に近い回答が得られましたので、正当性がある有効なアンケート調査になったと考えています。

資料4の1枚目は問1として、性別、年齢、家族構成、職業等を集計したものです。左上の円グラフは男女比率です。男性34.7%、女性54.1%から回答いただきましたが、町内人口の男女比率は男性48%、女性52%ですので、実態とやや近い割合となっています。

次に年齢構成ですが、10代が1.5%と最も少なく、70歳以上が一番多くなっています。これも当町の年齢構成をみると年齢が上がるほど構成比率が高くなっていて、現在70歳代が24%で一番多い構成比率となっており、妥当な結果だと思っています。

左下は家族構成です。親の子の2世代同居の方からの回答が36%が一番多くなっています。右下は職業についてですが、青の「サラリーマン」、紫の「無職」、これがやや同数で、先ほどの年齢構成で70歳以上の回答者が多かったことから「無職」という回答の方が多かったのではと推測されます。

次の2ページをご覧ください。資料3の2ページも併せて見ていただき

たいのですが、問2では34項目に対し、それぞれの満足度を1から5段階で調査しました。資料4の棒グラフでは、左側の青が「満足」、赤が「やや満足」、緑が「普通」、紫が「やや不満」、水色が「不満」、オレンジが「無回答」です。青や赤が多い項目が、全体的に満足度が高い項目ということになります。

これら34の質問項目を7つの分野に分けてグラフにまとめています。

左側の一番上の「都市基盤」の分野では青や赤が多く、全体的に満足度が高いという結果になりました。一方で、「不満」または「やや不満」を示す紫や水色が多かった分野は「産業」という結果になりました。

次に4ページと5ページをご覧ください。先ほどの34項目について、問2では「あなたの現状」について質問しましたが、問3は、この34項目の中で「どれが大切だと思いますか」と、同じ項目で質問の仕方を変えたものです。その結果、青や赤が多く「大切だ」または「やや大切だ」とされたのはやはり「都市基盤」でした。続いて4ページの一番下の「生活環境」も青や赤が多かった分野です。他には4ページの「健康福祉」、5ページの上の「教育文化」、この辺りも大切だと回答いただきました。

資料4の7ページをご覧ください。先ほどの問3で「何が大切ですか」と聞いたものの中から、特に大切だと思う項目を5つ選んでいただき、それをまとめたグラフを載せています。その結果、一番多かったのは(11)の「地域の保健・医療がしっかりしていること」で、228人から大切だと回答いただきました。2番目に多かったのは(23)の「学校教育が充実し、子供を育てるよい環境であること」、3番目には(21)の「火災、災害、交通事故、犯罪が少なく安心できること」、4番目が(32)の「町の財政が効率的で健全であること」、5番目が(3)の「水源が守られ、水道が整っていること」、これらが大切だと思う上位の回答でした。

続いて8ページをお願いします。この折れ線グラフは、問2と問3を一緒に集計したものです。上の青い線は問2の「あなたは満足していますか」に対する回答結果で、下の赤い線が問3の「何が大切ですか」に対する回答結果です。これを見ると、大切だと回答した項目は満足度も高く、一方でそれほど重要と思わないと回答した項目は満足度も低い、ということがわかります。満足度が高く重要だとされた項目は左から、(3)「水源が守られ、水道が整っていること」、(4)「生活排水の処理が行き届いていること」、(11)「地域の保健・医療がしっかりしていること」、(21)「火災、災害、交通事故、犯罪が少なく安心できること」、(23)「学校教育が充実し、子供を育てるよい環境であること」、これらが満足度も大切さでも非常に重要であると回答をいただいています。一方で(29)「国内各地との連携・交流が活発ではない」、(30)「国際化に向けた活動が活

発ではない」、などの項目は満足度も低く、それほど重要ではないと回答いただきました。

次に9ページです。第2次長期総合計画を策定した際に、後に比較をするため、いくつか今回と同じ項目でアンケート調査をしていました。その当時の結果と今回の結果を比較したものです。青い線が今回実施したアンケートの満足度で、赤い線が10年前に実施した調査の満足度です。これを見ると、全ての項目において今回の調査の満足度が高くなっております。

資料4の6ページに戻ります。問4では「あなたにとって七戸町は住みやすいですか」と質問しました。「とても住みやすい」が青の11.2%、「どちらかといえば住みやすい」が52%、合計63%で約2/3の方から「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」という回答をいただいております。逆に1/3の方は「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」と思われている、という結果となりました。

問5では「住みやすい」と回答いただいた方に、どのようなところが住みやすいと感じますか、と質問しています。その中で一番多かったのは、(10)「災害や交通事故への不安が少ない」、次に(12)「身近に親しめる自然が豊かである」、(2)「公共交通が充実し、町内外への移動が便利である」、これらの理由から「住みやすい」という回答をいただいております。

次に一番下の問6、ここでは「住みにくい」と回答いただいた方に対して、なぜ住みにくいかについて質問しました。一番多かったのは(5)「救急医療体制や病院が整っていない」、次に(11)「買い物や娯楽施設が十分でない」、(2)「公共交通が不十分で町内外への移動が不便である」、この公共交通に関しては、先ほど「住みやすい」と回答した方の項目でも上位にありましたが、一方ではまだ不十分で「住みにくい」と感じる方も多くおられるという結果となりました。次に(6)「継続的に働く場が確保されていない」というように、「住みにくい」と感じている方は、日常生活に直結するような項目を重視していることが分かります。アンケート結果の報告は以上です。

次の資料5は、町民ワークショップの報告書です。昨年10月から本年1月にかけて全4回のワークショップを開催しました。今日出席されている委員では、町内会長の岡村委員にも参加いただきました。他にも商工会さん、社協さん、農協さんからも委員を推薦いただき参加していただきました。大変ありがとうございました。

このワークショップでは、七戸町のいいところ、もっと伸ばしたいとこ

ろ、よくないところ、変えたいところについて、様々な意見をいただき、それをどうすれば改善できるかについて意見をいただきました。全て読み上げると時間がかかりますので、後ほど目を通して頂きたいと思います。全体として七戸町の良さとしては、先ほどのアンケート結果とも関連しますが、自然環境の豊かさ、交通の便、立地の良さ、このような意見が多かったようです。一方で改善すべき点としては、商業施設の衰退、労働人口の町外への流出、などの意見があげられました。詳細については後日改めてご確認いただきたいと思います。

続いて資料6は、高校生ワークショップの報告書です。七戸高校の2年生の生徒に参加していただいて実施しました。町民ワークショップとは別に、これからの七戸町を支える若い方々に、高校生ならではの純粋な視点で七戸町の現状と今後ついて意見をいただきました。主な意見としては、道の駅や総合アリーナを含め、七戸十和田駅周辺が発展してきているので、その一層の活性化に期待する、というような意見が多くあげられました。一方で悪化が懸念される意見としては、人口減少や少子高齢化によって、町の産業全般が衰退していくのではないかと、という意見を多くいただきました。こちらについても詳細は後ほどご確認いただきたいと思います。

ここまで昨年実施しました調査業務の報告書の一部を説明させていただきました。より詳細な報告書については、町のホームページに長期総合計画の策定の取り組み状況を公開しているページがあります。そこに詳細な報告書を掲載していますので、興味のある方はそちらをご確認いただきたいと思います。また、紙で必要な方は申し入れ頂ければご用意いたします。

以上、基礎調査業務の概要について説明させていただきました。これらの町民の皆様からの意見やアイデアをもとに、本年度はこの審議会において皆様から意見をいただきながら、基本構想と基本計画をまとめていきたいと思います。

2回目の審議会は8月後半を予定していますが、事務局で基本構想の素案がまとまり次第、ご審議頂きたいと思いますので、どうぞよろしく願います。以上で説明を終わります。

○議長

ありがとうございました。この説明につきまして、RAB 開発さんも今日

議事録	<p>せっかくお越し頂いていますので、何か補足説明等ございましたらお願いします。</p> <p>○RAB 開発 ございません。</p> <p>○議長 では先ほどご説明いただきました案件につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問などはありますか。</p> <p>○委員 今、いろいろと説明いただき、私も資料には事前に全て目を通しました。今の説明では、これから私たちがいろいろと話し合っ決めていく、というお話でした。それも大事ですが、役場にも多くの優秀な人材がおられると思います。今の段階で役場の中でまとめられたものはないのですか。</p> <p>○事務局 役場では、基本構想の素案の素案になるものを、これから役場内で話し合っ作成します。それをもとに、こちらの審議会にお諮りして、ご審議いただく、という作業をイメージしています。</p> <p>○委員 わかりました。</p> <p>○議長 他には何かございませんか。</p> <p>○坪委員 次回は8月の末頃ですか。</p> <p>○事務局 8月の末ぐらいを予定していますが、素案がまとまり次第開催したいと考えています。</p> <p>○委員 もし審議会を開くのであれば、エアコンが完備された場所が必要だと思います。とても暑い日であれば審議どころではなくなります。以前にも一</p>
-----	--

議事録	<p>度ありましたので。</p> <p>○事務局 わかりました。</p> <p>○議長 ありがとうございます。他に何かご意見はございますか。 無いようであれば、本日の案件（２）の第３次七戸町長期総合計画についてはご了承いただいたものとして終了させていただきたいと思います。</p> <p>○議長 続きまして次第の６番、その他につきまして何かありますでしょうか。 事務局は、会場については先ほどの点をご配慮願いたいと思います。</p> <p>○事務局 はい。</p> <p>○議長 案件が承認されましたので、以上で本日の議長の役目をここで降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>○事務局 田中会長、ありがとうございました。今日はこれまでの状況説明でしたが、次回以降は委員の皆様にもいろいろご審議いただくこととなりますので、よろしく願いいたします。 それでは以上をもちまして、第１回七戸町総合開発審議会を閉会いたします。皆様、大変お疲れ様でした。</p> <p>○一同 お疲れ様でした。</p> <p>(00 : 55 : 24)</p>
-----	--